

2008年(平成20年)11月21日(金曜日)

細胞の活性化で長生きに

豊橋ハートセンター
友の会会長の宗田氏講演

豊橋ハートセンターの会長・宗田理氏が（鈴木孝彦院長）ハートホールで、このほど第13回ハート講演会が開かれた。患者と医師の交流を目的にした月例イベントだ。

第一部は同ハート友

加などと説明。

健康で長生きする知恵を語る宗田会長
豊橋ハートセンターで



また、専門家が書いた

た沢山の本の紹介も。

「125歳まで元気に」

「老いに勝つ10の秘訣」

「驚異の食事」などが

「長生きは地球を滅ぼす」など。結果、健

康で元気に生きるに

は、細胞の活性化を心

掛けること。そのため

には、新しい友たちを

つくる、本を読む、手

紙を書く、毎日何かに感動するなどの実行」と呼び掛けた。

第2部は、同センター

心臓血管外科・馬場

寛部長が「動脈瘤（り

ゆう）について」をテ

ーマに、症状や治療法、

予防法など話した。動

脈瘤は胸部と腹部に発

症するが、増加してい

る腹部を取り上げた。

患者は10万人に15か

ら18人の割合で、男性

が多く年間2000人

が死亡する」と。かか

りやすい人は、高血圧、

喫煙、高齢者。破裂す

るまで無症状で、検査

はレントゲンではわか

らず、エコーやCTス

キャンが有効。

破裂すると腹部や腰

部に激しい痛みを伴

い、ショック状態に。

瘤を小さくする治療法

はなく、手術や薬剤で

拡大を遅らせる」と説

明した。

(星野のりこ)